

教 育 課 程

履 修 要 綱

はじめに

短期大学の教育は学科の基礎教育科目および専門教育科目を学ぶその過程において様々な教養を培い、専門知識や技能を修得し、かつ、お互いの個性を尊重する能力を獲得することによって、社会に貢献できる人材の育成を目的としています。

また、学科に配当されている科目を確実に履修し単位修得しなければ卒業できず、各種資格の取得もできません。そのための必要事項をここに記載しますので、よく確認して学修成果を十分にあげるよう努力してください。

1. 授業科目の単位認定

本学での学修は、すべて単位制になっています。すべての科目について一定の単位数が定められており、その科目の授業を受け、かつ、試験等に合格した場合単位が与えられる制度です。単位の合計が一定数（卒業に要する単位数）を満たした者に対して、卒業が認定されます。

単位とは、学修の量を数値で表したものであり、単位と時間数との関係は短期大学設置基準により「1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成すること」とされています。1単位の授業時間数は、授業の方法、授業による教育効果、授業時間外に必要な学修などを考慮していくつかの形態に分けられています。【学則第23条】

2. 本学以外の大学等で修得した単位等の認定【学則第26条、27条、29条】

(1) 単位互換制度「NICEキャンパス長崎」による認定

単位互換制度「NICEキャンパス長崎」は、長崎県内のすべての大学（短期大学・高等専門学校含む）が参加し、2001年度からスタートした制度です。この名称は、Nagasaki Intercollegiate（大学間）Credit（単位）Exchange（互換）の頭文字をとってつけられました。

単位互換制度は、各大学が提供する授業科目の中から、希望する科目を履修し、科目開設大学で単位を修得すれば所属大学の単位として認定されます。また、認定された単位のうち、所定の要件を満たすものについては、卒業要件単位として認定することもできます。

各大学の提供科目は配布されるリーフレット・ホームページで確認してください。授業内容、開講曜日時間は「学生募集ガイド」で確認できます。受講したい科目がある場合は、出願票に所要事項を記入し事務局に提出して下さい。

(2) 既修得単位の認定

教育上有益と判断した場合、大学等における既修得単位を本学の開講科目の単位として認定する制度があります。なお、科目名称が同じでも、教育課程内容、科目の位置づけや重要性が異なる場合、単位が認定できない場合があります。

単位認定を希望する者は、入学後直ちに「既修得単位認定申請書」に次の書類を添えて事務局に提出して下さい。

- ① 当該授業科目の成績証明書あるいはそれに代わる書類
- ② 当該授業科目の時間数あるいは単位数を証明する書類

③当該授業科目の内容のわかるシラバス（授業概要）

④その他教務委員会が提出を求める書類

3. 卒業要件

本学を卒業するためには、2年間在学し、所定の単位数を修得しなければなりません。仮に、2年生の前期で所要単位を修得しても、在学期間が2年未満のためその時点では卒業できません。【学則第31条】

卒業に必要な単位数は授業科目の区分（基礎教育科目、専門教育科目等）ごとに定められています。なお、授業科目のうち、少なくとも必修科目の単位をすべて修得しないと卒業できませんので十分注意して下さい。

4. 履修

履修登録とは学修しようとする授業科目をあらかじめ届け出ることです。履修登録をしていない科目は、例え授業に出席しても定期試験が受けられず、結果として単位の修得ができません。また、履修登録はその年度に限り効力を発揮しますので、何らかの事情で科目の履修を次の年度において繰り返す場合は改めて登録することが必要です。

すべての科目には、配当年次が定められています。例えば、配当年次が2年次の科目は、1年生は履修できません。また、次の場合も履修登録できません。

- ①時間割が重なっている科目を重複して登録する場合
- ②単位修得済みの科目を再度登録する場合
- ③上級年次に配当されている科目を登録する場合
- ④通年科目の前半または後半のみを登録する場合
- ⑤履修上限単位を超えて履修する場合

学 科 等 名	上限単位
地域共生学科 食物栄養コース	50
地域共生学科 製菓コース	50
地域共生学科 介護福祉コース	50
地域共生学科 国際コミュニケーションコース	50
保育学科	50
専攻科 保育専攻	50

(1) 履修登録の注意点

- ①パソコンやスマートフォンからインターネット上で履修登録が行えます
- ②履修の登録・変更期限は、授業開始日から原則1週間以内です
- ③後期科目についても、後期授業開始日から原則1週間以内であれば変更可能です
- ④「再履修」する場合も履修登録が必要です
- ⑤あらかじめ登録されている必修科目等もあります
- ⑥履修科目の追加・変更・削除は、履修登録期間内であれば何度でも行えます

5. 授 業 時 間

時 限	時 間 (午前)	時 限	時 間 (午後)
1 時限	9 : 10～ 9 : 55	3 時限	13 : 10～13 : 55
	9 : 55～10 : 40		13 : 55～14 : 40
2 時限	10 : 50～11 : 35	4 時限	14 : 50～15 : 35
	11 : 35～12 : 20		15 : 35～16 : 20
* 行事がある場合は短縮授業 になる (80分)。		5 時限	16 : 30～17 : 15
			17 : 15～18 : 00

6. 試 験

(1) 定期試験の受験資格

定期試験の受験資格は次の項目に該当している必要があります。

- ①当該科目の授業回数の3分の2以上出席していること (介護実習を除く)
- ②当該科目の履修登録をしていること
- ③学納金等の納付が完了していること

(2) レポート・作品の提出

期日までに提出することが前提となります。提出先 (研究室、事務室、その他) と期日・時刻を確認し、時間厳守を心がけてください。

(3) 追試験

やむを得ない事情で定期試験を欠席した人に対し実施される試験で、受験を希望する場合は、追試験願に欠席理由を証明する書類を添付して申し込む必要があります。(受験料 500円/1科目)

<主な欠席理由と必要な証明書>

病気または負傷……………医師の診断書、処方せん、薬の説明書など

公共交通機関の事故・遅延……………関係機関の証明書

忌引……………会葬礼状

※上記に該当しない場合は、事務室に相談してください。

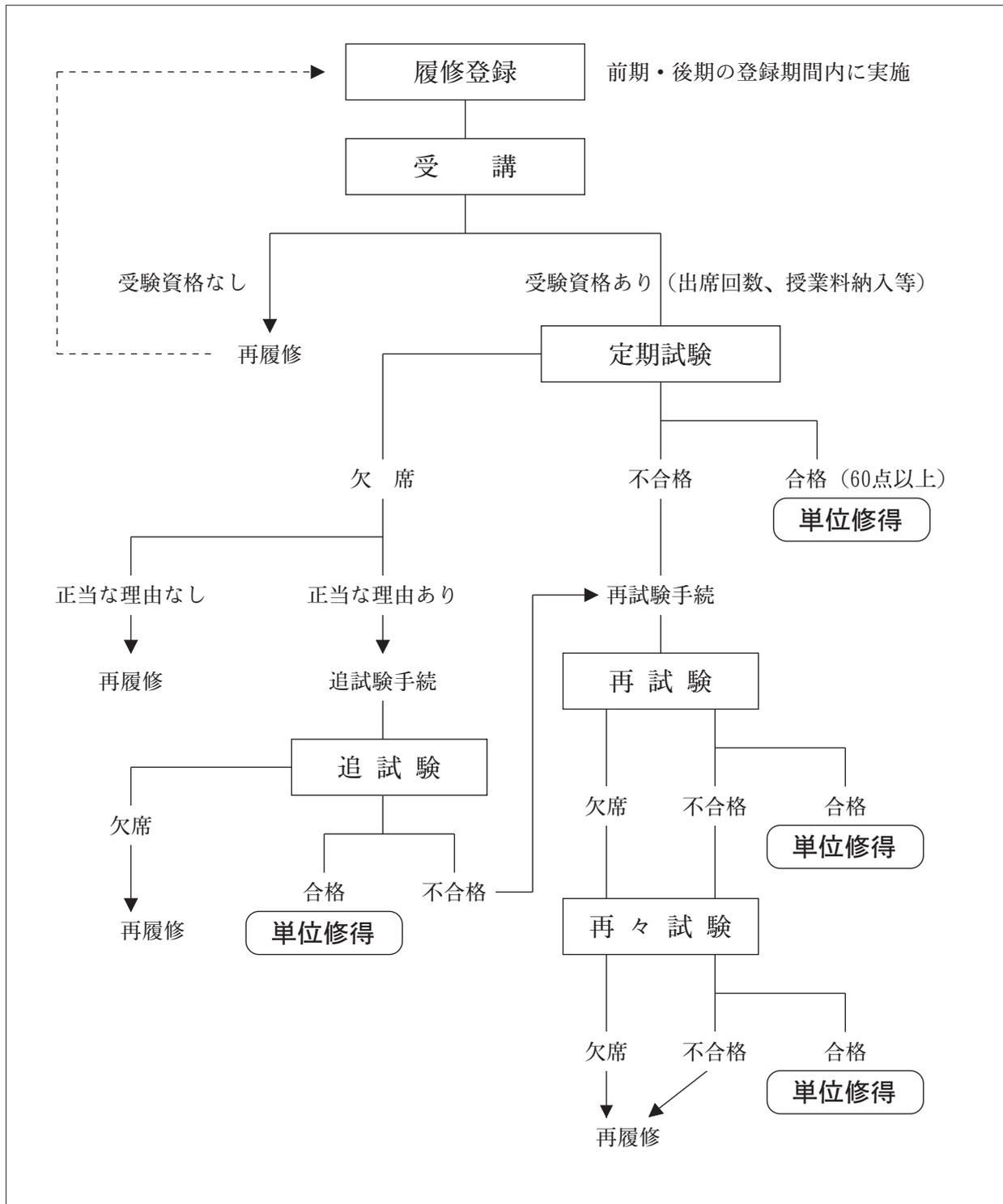
(4) 再試験

定期試験の結果が合格点に達しなかった人に対し実施される試験で、受験を希望する場合は、再試験願に所要事項を記入し申し込む必要があります。(受験料 1,000円/1科目)

(5) 再々試験

再試験の結果が合格点に達しなかった人に対し実施される試験で、受験を希望する場合は、再々試験願に所要事項を記入し申し込む必要があります。(受験料 1,500円/1科目)

<参考資料>履修登録から単位認定までの行程



地域共生学科 (学科共通)

〈令和4年度入学生〉

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		1年		2年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	
基礎教育科目 (全学共通)	大学教育入門	講義	1		○				
	データサイエンス基礎	講義	1		○				*
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○				
	茶道文化Ⅱ	演習	1			○			
	茶道文化Ⅲ	演習	1				○		
	茶道文化Ⅳ	演習	1					○	
	小計(6科目)			6	0	—			
基礎教育科目 (学科共通)	地域と人々	実習	1		○	○			
	地域と職業	講義	2			○			*
	基礎化学	講義		2	○				
	基礎化学実習	実習		1	○				
	心理学	講義		2	○				
	ビジネスマナー	演習		1	○				*
	福祉文化	演習		1				○	
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	○				*
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1	㊦	○			*
	Office総合演習	演習		1			㊦	○	*
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	○				
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1		○			
	フランス語Ⅰ	演習		1	○				
	フランス語Ⅱ	演習		1		○			
	日本語Ⅰ	演習		1	○				
	日本語Ⅱ	演習		1		○			
	スポーツ実習	実習		1	○	○			
	スポーツ科学	講義		2				○	
小計(18科目)			3	19	—				
計(24科目)			9	19	—				

* : 実務経験者が担当

㊦ : 国際コミュニケーションコース対象

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を履修すること。

- 一 基礎教育科目から10単位以上
- 二 所属するコースの専門教育科目から36単位以上
- 三 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地域共生学科 (学科共通)

〈令和3年度以前入学生〉

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		1年		2年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	
基礎教育科目 (全学共通)	大学教育入門	講義	1		○				
	社会人基礎入門(地域と大学)	講義	1		○				*
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○				
	茶道文化Ⅱ	演習	1			○			
	茶道文化Ⅲ	演習	1				○		
	茶道文化Ⅳ	演習	1					○	
	小計(6科目)			6	0	—			
基礎教育科目 (学科共通)	地域と人々	実習	2		○	○			
	地域と職業	講義	2			○			*
	基礎化学	講義		2	○				
	基礎化学実習	実習		1	○				
	心理学	講義		2	○				
	ビジネスマナー	演習		1	○				*
	文書資料講読	講義		2		○			
	福祉文化	演習		1				○	
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	○				*
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1		○			*
	Office総合演習	演習		1				○	*
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	○				
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1		○			
	フランス語Ⅰ	演習		1	○				
	フランス語Ⅱ	演習		1		○			
	日本語Ⅰ	演習		1	○				
	日本語Ⅱ	演習		1		○			
	スポーツ実習	実習		1		○			
	スポーツ科学	講義		2				○	
小計(19科目)			4	21	—				
計(25科目)			10	21	—				

*：実務経験者が担当

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を履修すること。

- 一 基礎教育科目から10単位以上
- 二 所属するコースの専門教育科目から36単位以上
- 三 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地域共生学科

(食物栄養コース)

〈令和4年度入学生〉

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年		2年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	栄養士論	講義		2	○				
	公衆衛生学	講義		2				○	
	社会福祉概論	講義		2				○	
	解剖生理学Ⅰ	講義		2	○				*
	解剖生理学Ⅱ	講義		2		○			*
	解剖生理学実習	実習		1		○			
	運動生理学	講義		2				○	
	生化学	講義		2	○				
	生化学実習	実習		1		○			
	食品学Ⅰ	講義		2	○				
	食品学Ⅱ	講義		2		○			
	食品学実習	実習		1				○	
	食品衛生学	講義		2			○		*
	食品衛生学実習	実習		1				○	*
	基礎栄養学	講義		2	○				
	応用栄養学	講義		2		○			
	応用栄養学実習	実習		1			○		
	臨床栄養学総論	講義		2		○			*
	臨床栄養学各論	講義		2			○		*
	臨床栄養学実習	実習		1			○		*
	公衆栄養学	講義		2				○	*
	栄養指導論Ⅰ	講義		2	○				
	栄養指導論Ⅱ	講義		2			○		
	栄養指導論実習Ⅰ	実習		1		○			
	栄養指導論実習Ⅱ	実習		1			○		
	給食経営管理論	講義		2		○			*
	給食経営管理実習Ⅰ	実習		1			○		*
	給食経営管理実習Ⅱ	実習		1				○	*
	学外実習Ⅰ	実習		1			○	○	*
	学外実習Ⅱ	実習		1			○	○	*
	学外実習事前・事後指導	演習		1			○	○	
	調理理学	講義		2	○				*
調理学実習Ⅰ	実習		2	○				*	
調理学実習Ⅱ	実習		2		○			*	
調理学実習Ⅲ	実習		1			○		*	
調理学実習Ⅳ	実習		1				○	*	
スポーツ栄養学	講義		2		○				
スポーツ栄養学実習	実習		1			○	○		
総合演習A	演習		1			○		*	
総合演習B	演習		1				○	*	
小計(40科目)			0	62				—	

* : 実務経験者が担当

地域共生学科 (食物栄養コース)

〈令和3年度以前入学生〉

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年		2年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	栄養士論Ⅰ	講義		1	○				
	栄養士論Ⅱ	講義		1	○				*
	公衆衛生学	講義		2				○	
	社会福祉概論	講義		2				○	
	解剖生理学Ⅰ	講義		2	○				*
	解剖生理学Ⅱ	講義		2		○			*
	解剖生理学実習	実習		1		○			
	運動生理学	講義		2				○	
	生化学	講義		2	○				
	生化学実習	実習		1		○			
	食品学Ⅰ	講義		2	○				
	食品学Ⅱ	講義		2		○			
	食品学実習	実習		1				○	
	食品衛生学	講義		2			○		*
	食品衛生学実習	実習		1				○	*
	基礎栄養学	講義		2	○				
	応用栄養学	講義		2		○			
	応用栄養学実習	実習		1			○		
	臨床栄養学総論	講義		2		○			*
	臨床栄養学各論	講義		2			○		*
	臨床栄養学実習	実習		1			○		*
	公衆栄養学	講義		2				○	*
	栄養指導論Ⅰ	講義		2	○				
	栄養指導論Ⅱ	講義		2			○		
	栄養指導論実習Ⅰ	実習		1		○			
	栄養指導論実習Ⅱ	実習		1			○		
	給食経営管理論	講義		2		○			*
	給食経営管理実習Ⅰ	実習		1			○		*
	給食経営管理実習Ⅱ	実習		1				○	*
	学外実習Ⅰ	実習		1			○	○	*
	学外実習Ⅱ	実習		1			○	○	*
	学外実習事前・事後指導	演習		1			○	○	
	調理学	講義		2	○				*
	調理学実習Ⅰ	実習		2	○				*
	調理学実習Ⅱ	実習		2		○			*
	調理学実習Ⅲ	実習		1			○		*
	調理学実習Ⅳ	実習		1				○	*
	スポーツ栄養学	講義		2		○			
	スポーツ栄養学実習Ⅰ	実習		1			○		
	スポーツ栄養学実習Ⅱ	実習		1				○	
	総合演習A	演習		1		○			*
	総合演習B	演習		1			○		*
	総合演習C	演習		1				○	*
小計 (43科目)			0	64	—				

* : 実務経験者が担当

長崎短期大学 地域共生学科食物栄養コースに関する規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、長崎短期大学学則 6 条の 2 の規定に基づき、食物栄養コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第 2 条 食物栄養コースを、栄養士養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第 3 条 養成課程は、栄養士法第 1 条に規定する栄養士の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第 4 条 養成課程の学級数は 1 学年 1 クラスとし、定員は各学年とも 35 人とする。

(履 修)

第 5 条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、地域共生学科食物栄養コースに在籍する者に限る。

(授 業)

第 6 条 養成課程の専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第 7 条 養成課程の在籍者は、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、別表第 1 に規定する専門教育科目をすべて修得しなければならない。

(履修認定)

第 8 条 養成課程の履修の認定は、所定単位（時間）についての出席、試験、レポート、実験、実習その他による成績審査に合格した者とする。

(事 務)

第 9 条 この規程の事務は、学生支援課が行う。

(改 定)

第 10 条 この規程の改定は、教務委員会および運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規定は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規定は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1

栄養士指定規則の規定				本学開講授業科目			
	教育内容	単位数		科目名	単位数		
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2		
	人体の構造と機能	8		社会福祉概論	2		
				解剖生理学Ⅰ	2		
解剖生理学Ⅱ			2				
解剖生理学実習				1			
運動生理学			2				
生化学	2						
生化学実習		1					
野	食品と衛生	6	食品学Ⅰ	2			
			食品学Ⅱ	2			
			食品学実習			1	
			食品衛生学	2			
			食品衛生学実習			1	
専門分野	栄養と健康	8	基礎栄養学	2			
			応用栄養学	2			
			応用栄養学実習			1	
野	栄養の指導	6	臨床栄養学総論	2			
			臨床栄養学各論	2			
			臨床栄養学実習			1	
			公衆栄養学	2			
			栄養指導論Ⅰ	2			
栄養指導論Ⅱ	2						
栄養指導論実習Ⅰ		1					
栄養指導論実習Ⅱ		1					
野	給食の運営	4	給食経営管理論	2			
			給食経営管理実習Ⅰ			1	
			給食経営管理実習Ⅱ			1	
			学外実習Ⅰ			1	
			学外実習事前・事後指導	1			
			調理学	2			
			調理学実習Ⅰ			2	
			調理学実習Ⅱ			2	
小計		36	14	小計		37	15
合計		50		合計		52	

地域共生学科 (製菓コース)

〈令和4年度入学生〉

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		備考
			必修	選択	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	5 Q	6 Q	7 Q	8 Q	
専 門 教 育 科 目	衛生法規	講義		2						○			
	公衆衛生学Ⅰ	講義		2		○							*
	公衆衛生学Ⅱ	講義		2				○					*
	食品学Ⅰ	講義		2			○						
	食品学Ⅱ	講義		2				○					
	栄養学Ⅰ	講義		2	○								*
	栄養学Ⅱ	講義		2		○							*
	食品衛生学Ⅰ	講義		2	○								*
	食品衛生学Ⅱ	講義		2			○						*
	食品衛生学Ⅲ	講義		2					○				*
	食品衛生学Ⅳ	講義		2							○		*
	食品衛生学実験	実験		1								○	*
	製菓理論Ⅰ	講義		2	○								*
	製菓理論Ⅱ	講義		2		○							*
	製菓理論Ⅲ	講義		2					○				*
	製菓理論Ⅳ	講義		2							○		*
	製菓実習Ⅰ	実習		4	○	○							*
	製菓実習Ⅱ	実習		4			○	○					*
	製菓実習Ⅲ	実習		4					○	○			*
	製菓実習Ⅳ	実習		4							○	○	*
	製菓技術実習	実習		2				○					*
	製菓店経営概論	講義		2					○				
	インターンシップ	実習		1						○			*
	総合演習Ⅰ	演習		2		○	○	○					*
	総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○	○	*
	製菓実践演習	演習		2							○	○	
	調理実習Ⅰ	実習		1	○	○							
	調理実習Ⅱ	実習		1			○	○					
	ホスピタリティ論	講義		2					○				*
	カフェ学Ⅰ	演習		2					○	○			*
	カフェ学Ⅱ	演習		2							○	○	*
	トータルコーディネート	演習		2						○			*
小計(32科目)			0	68	—								

*：実務経験者が担当

地域共生学科 (製菓コース)

〈令和3年度以前入学生〉

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		備考
			必修	選択	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	5 Q	6 Q	7 Q	8 Q	
専 門 教 育 科 目	衛生法規	講義		2						○			
	公衆衛生学Ⅰ	講義		2	○	○							*
	公衆衛生学Ⅱ	講義		2				○					*
	食品学Ⅰ	講義		2			○						
	食品学Ⅱ	講義		2				○					
	栄養学Ⅰ	講義		2	○								*
	栄養学Ⅱ	講義		2		○							*
	食品衛生学Ⅰ	講義		2	○								*
	食品衛生学Ⅱ	講義		2		○							*
	食品衛生学Ⅲ	講義		2					○				*
	食品衛生学Ⅳ	講義		2							○		*
	食品衛生学実験	実験		1								○	*
	製菓理論Ⅰ	講義		2	○	○							*
	製菓理論Ⅱ	講義		2			○	○					*
	製菓理論Ⅲ	講義		2					○				*
	製菓理論Ⅳ	講義		2							○		*
	製菓実習Ⅰ	実習		4	○	○							*
	製菓実習Ⅱ	実習		4			○	○					*
	製菓実習Ⅲ	実習		4					○	○			*
	製菓実習Ⅳ	実習		4							○	○	*
	製菓技術実習	実習		2				○					*
	製菓店経営概論	講義		2					○				
	インターンシップ	実習		1						○			*
	総合演習Ⅰ	演習		2	○	○	○	○					*
	総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○	○	*
	製菓実践演習	演習		2							○	○	
	調理実習Ⅰ	実習		1	○	○							
	調理実習Ⅱ	実習		1			○	○					
	ホスピタリティ論	講義		2					○				*
	カフェ学Ⅰ	演習		2					○	○			*
	カフェ学Ⅱ	演習		2							○	○	*
	トータルコーディネート	演習		2						○			*
小計(32科目)			0	68	—								

* : 実務経験者が担当

長崎短期大学 地域共生学科製菓コースに関する規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、長崎短期大学学則 6 条の 2 の規定に基づき、製菓コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第 2 条 製菓コースを、製菓衛生師養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第 3 条 養成課程は、製菓衛生師法第 1 条に規定する製菓衛生師の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第 4 条 養成課程の学級数は 1 学年 1 クラスとし、定員は各学年とも 20 人とする。

(履 修)

第 5 条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、地域共生学科製菓コースに在籍する者に限る。

(授 業)

第 6 条 養成課程の専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第 7 条 養成課程の在籍者は、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、別表第 1 に規定する専門教育科目をすべて修得しなければならない。

(履修認定)

第 8 条 養成課程の履修の認定は、所定単位（時間）についての出席、試験、レポート、実験、実習その他による成績審査に合格した者とする。

(事 務)

第 9 条 この規程の事務は、学生支援課が行う。

(改 定)

第 10 条 この規程の改定は、教務委員会および運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規定は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規定は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規定は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規定は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1

製菓衛生師法の施行について別表 2			本学開講授業科目		
教科科目	時間数		開設授業科目名	時間数	
	講義	実習		講義	実習
衛生法規	30		衛生法規	30	
公衆衛生学	60		公衆衛生学Ⅰ	30	
			公衆衛生学Ⅱ	30	
食品学	60		食品学Ⅰ	30	
			食品学Ⅱ	30	
食品衛生学	96	24	食品衛生学Ⅰ	30	
			食品衛生学Ⅱ	30	
			食品衛生学Ⅲ	30	
			食品衛生学Ⅳ	30	
			食品衛生学実験		30
栄養学	60		栄養学Ⅰ	30	
			栄養学Ⅱ	30	
社会	30		製菓店経営概論	30	
製菓理論	90		製菓理論Ⅰ	30	
			製菓理論Ⅱ	30	
			製菓理論Ⅲ	30	
			製菓理論Ⅳ	30	
製菓実習		480	製菓実習Ⅰ		120
			製菓実習Ⅱ		120
			製菓実習Ⅲ		120
			製菓実習Ⅳ		120
			製菓技術実習		60
小計	426	504	小計	480	570
合計	930		合計	1,050	

基礎教育科目のうち以下の科目は必修とする。

- コンピュータ演習Ⅱ
- 語学（英語コミュニケーションまたはフランス語または日本語）
- スポーツ実習

地域共生学科

（介護福祉コース）

〈令和4および3年度以前入学生〉

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年		2年		備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	人間の尊厳と自立	講義		2		○			
	人間関係とコミュニケーションⅠ	講義		2			○		
	人間関係とコミュニケーションⅡ	講義		2				○	
	社会の理解Ⅰ	講義		1	○				
	社会の理解Ⅱ	講義		2			○		
	社会の理解Ⅲ	講義		1				○	
	介護の基本A	講義		4	○	○			*
	介護の基本B	講義		4	○	○			*
	介護の基本C	講義		4			○	○	*
	コミュニケーションA	演習		1	○				*
	コミュニケーションB	演習		1		○			*
	生活支援技術A	演習		4	○	○			*
	生活支援技術B	演習		2	○				*
	生活支援技術C	演習		2			○	○	*
	生活支援技術D	演習		2			○	○	*
	介護過程Ⅰ	演習		1	○				*
	介護過程Ⅱ	演習		1		○			*
	介護過程Ⅲ	演習		2		○	○		*
	介護過程Ⅳ	演習		1			○	○	*
	介護総合演習Ⅰ	演習		2	○	○			*
	介護総合演習Ⅱ	演習		2			○	○	*
	介護実習Ⅰ	実習		5	○	○			*
	介護実習Ⅱ	実習		5		○	○		*
	こころとからだA	講義		2	○				*
	こころとからだB	講義		2	○				*
	こころとからだC	講義		2		○			*
	こころとからだD	講義		2				○	*
	発達と老化の理解Ⅰ	講義		2	○				*
	発達と老化の理解Ⅱ	講義		2		○			*
	認知症の理解A	講義		2	○				*
	認知症の理解B	講義		2		○			*
	障害の理解Ⅰ	講義		2	○				*
	障害の理解Ⅱ	講義		2		○			*
	医療的ケアA	講義		2			○		*
	医療的ケアB	講義		2			○		*
	医療的ケアC	演習		2				○	*
小計（36科目）			0	79	—				

*：実務経験者が担当

介護福祉士学校指定規則別表第四に規定する教育内容の対照表

領域	介護福祉士学校指定規則	時間数	本学開講授業科目	時間数
人間と社会	人間の尊厳と自立	30	人間の尊厳と自立	30
	人間関係とコミュニケーション	60	人間関係とコミュニケーションⅠ	30
			人間関係とコミュニケーションⅡ	30
	社会の理解	60	社会の理解Ⅰ	16
			社会の理解Ⅱ	30
			社会の理解Ⅲ	16
	人間と社会に関する選択科目	120	大学教育入門	15
			社会人基礎入門（地域と大学）	15
			茶道文化Ⅰ	30
			茶道文化Ⅱ	30
			茶道文化Ⅲ	30
			茶道文化Ⅳ	30
			地域と人々	30
地域と職業	30			
小計	270	小計	332	
介護	介護の基本	180	介護の基本A	60
			介護の基本B	60
			介護の基本C	60
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーションA	30
			コミュニケーションB	30
	生活支援技術	300	生活支援技術A	120
			生活支援技術B	60
			生活支援技術C	60
			生活支援技術D	60
	介護過程	150	介護過程Ⅰ	30
			介護過程Ⅱ	30
			介護過程Ⅲ	60
			介護過程Ⅳ	30
介護総合演習	120	介護総合演習Ⅰ	60	
		介護総合演習Ⅱ	60	
介護実習	450	介護実習Ⅰ	232	
		介護実習Ⅱ	240	
小計	1,260	小計	1,282	
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ	120	こころとからだのしくみA	30
			こころとからだのしくみB	30
			こころとからだのしくみC	30
			こころとからだのしくみD	30
	発達と老化の理解	60	発達と老化の理解Ⅰ	30
			発達と老化の理解Ⅱ	30
	認知症の理解	60	認知症の理解A	30
			認知症の理解B	30
	障害の理解	60	障害の理解Ⅰ	30
			障害の理解Ⅱ	30
小計	300	小計	300	
医療的ケア	医療的ケア	50	医療的ケアA	36
			医療的ケアB	36
			医療的ケアC	60
小計	50	小計	132	
合計	1,880	合計	2,076	

介 護 実 習

1. 介護実習の目的

介護の実体験を通して、学内で学んだ内容を総合的に捉え、介護とは何かを理解・再確認し、介護を実践する基礎的能力を修得する。

2. 介護実習の目標

- (1) 利用者の生活を観察し個別ケアを理解する。また、利用者や家族とコミュニケーションを図り、生活支援技術を確認し、多職種協働や関係機関との連携を通じて介護福祉士の役割を理解する。
- (2) 個別ケアを実施するために、利用者の課題を明確にした上で、個別援助計画の立案や実施後の評価という介護過程を展開する。さらに、ここからだと、社会の領域で学修した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスを提供する実践力を修得する。

3. 実習指導の方法

- (1) 介護実習時期や期間、介護実習先の設定は実習目標が達成できるように実習施設との調整を図る。また、学内で学んだことを介護実習で実践できるように、実習目標を明確にした実習計画を立てる。
- (2) 実習指導者との連絡・報告・相談をすることで、より効果的な介護実習を展開する。
 - ① 介護実習Ⅰについては、実習の意義や目的、内容、実習指導者の役割などについて話し合い、共通の理解が得られるようにする。
 - ② 介護実習Ⅱについては、特に介護過程について実習指導者だけでなく職員ともケースカンファレンスを開催し、実習について共通の理解が得られるようにする。
- (3) 実習担当教員は実習期間中に実習施設を巡回し、個々の学生の実習課題を把握した上で、実習目標の達成状況を確認し、目標達成のための具体的な方法について指導を行う。

巡回教員は実習記録の添削を行い、学生が何を学び、感じとっているのかを把握する。また、実習の課題を学生自らが考え乗り越えられるように指導する。

4. 介護実習の段階と実習場所・目的・期間

【各実習の場所・目的・期間】

	実習の場所	実習目的	単位	時間数
介護実習Ⅰ	介護老人福祉施設	①介護老人福祉施設の特徴や役割を知る。 ②高齢者・障害者を知る。	5 単位	3 日 (24時間)
	グループホーム実習	認知症対応型共同生活介護の特徴や役割を知り、利用者の自立支援のための生活支援の方法を理解する。		5 日 (40時間)
	訪問介護実習	在宅介護の特徴や役割を知り、利用者の生活環境の特性に応じた生活支援の方法を理解する。		2 日 (16時間)
	障害者施設実習	障害者施設の特徴や役割を知り、人権を尊重した個別性のある生活支援の方法を理解する。		7 日 (56時間)
	リハビリテーション病院実習	①リハビリテーション病院の概要やチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。 ②利用者（患者）の特性（機能障害）に配慮したコミュニケーションの方法を理解する。 ③利用者（患者）とその家族とコミュニケーションを図り、身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解する。 ④ICFに基づいた観察ができる。 ⑤利用者（患者）のADL、IADLや潜在能力を考えた生活支援の方法を理解する。		4 日 (32時間)
	介護老人保健施設実習	①介護老人保健施設の特徴や役割を知る。 ②利用者の心身状況に応じた専門職としての視点、およびチームの一員としての連携の方法を踏まえて、生活支援技術を的確に選択し実践できる。 ③ICFに基づいたアセスメントができる。		8 日 (64時間)
介護実習Ⅱ	1 介護老人福祉施設実習	①介護老人福祉施設の特徴や役割を知る。 ②利用者の生活ニーズを捉え、生活支援のあり方を考え実践する。 ③ICFに基づいたアセスメントができる。	5 単位	7 日 (56時間)
	2 施設介護実習 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 障害者施設	利用者を総合的に捉え、個別性を踏まえた介護過程を展開することができる。		23 日 (184時間)

地 域 共 生 学 科
(国際コミュニケーションコース)

〈令和4年度入学生〉

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年				2年				備考	
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成		
専 門 教 育 科 目 (国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 理 解)	英 会 話 I	演習		2	○	○								☆
	英 会 話 II	演習		1				○						☆
	英 会 話 III	演習		1						○				☆
	英 会 話 IV	演習		1							○			☆
	英 会 話 V	演習		1								○		☆
	英 会 話 VI	演習		1									○	☆
	英 語 検 定 I	講義		2		○								☆
	英 語 検 定 II	講義		2			○							☆
	英 語 検 定 III	講義		2						○				☆
	英 語 多 読	演習		2		○	○							
	英語ライティング&文法I	講義		2					○					
	英語ライティング&文法II	講義		2								○	○	
	英 語 演 習 I	演習		2						○	○			
	英 語 演 習 II	演習		2								○	○	
	英語アクティブラーニング	演習		1								○	○	
	英 語 特 別 演 習 I	演習		1										
	英 語 特 別 演 習 II	演習		1										
	中 国 語 基 礎 I	講義		2		○	○							
	中 国 語 基 礎 II	講義		2		○	○							
	中 国 語 基 礎 III	講義		2		○	○							
	中 国 語 会 話 I	演習		1					○					☆
	中 国 語 会 話 II	演習		1								○	○	☆
	中 国 語 検 定 I	講義		2						○	○			☆
	中 国 語 検 定 II	講義		2						○	○			☆
	中 国 語 検 定 III	講義		2						○	○			☆
	中国語ライティング&文法I	講義		2					○					
	中国語ライティング&文法II	講義		2								○	○	
	中国語アクティブラーニング	演習		1								○	○	
	中 国 語 特 別 演 習 I	演習		1										
	中 国 語 特 別 演 習 II	演習		1										
	韓 国 語 基 礎 I	講義		2		○	○							
	韓 国 語 基 礎 II	講義		2		○	○							
	韓 国 語 基 礎 III	講義		2		○	○							
	韓 国 語 会 話 I	演習		1					○					☆
	韓 国 語 会 話 II	演習		1								○	○	☆
	韓 国 語 検 定 I	講義		2						○	○			☆
韓 国 語 検 定 II	講義		2						○	○			☆	
韓 国 語 検 定 III	講義		2						○	○			☆	
韓国語ライティング&文法I	講義		2					○						
韓国語ライティング&文法II	講義		2								○	○		
韓国語アクティブラーニング	演習		1								○	○		
韓 国 語 特 別 演 習 I	演習		1											
韓 国 語 特 別 演 習 II	演習		1											
基 礎 日 本 語 I	講義		2		○	○								
基 礎 日 本 語 II	講義		2					○	○					
日 本 語 会 話 I	演習		2		○								☆	
日 本 語 会 話 II	演習		2			○							☆	
日 本 語 会 話 III	演習		2					○					☆	
日 本 語 会 話 IV	演習		2						○				☆	
日 本 語 会 話 V	演習		2							○			☆	
日 本 語 会 話 VI	演習		2								○		☆	

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年				2年				備考			
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成				
専門教育科目（国際コミュニケーション（言語・多文化理解））	日本語検定Ⅰ	講義		2	○									☆		
	日本語検定Ⅱ	講義		2			○							☆		
	日本語検定Ⅲ	講義		2					○					☆		
	日本語多読Ⅰ	演習		2		○										
	日本語多読Ⅱ	演習		2			○									
	日本語多読Ⅲ	演習		2					○							
	日本語多読Ⅳ	演習		2						○						
	日本語ライティング&グラマーⅠ	講義		2					○							
	日本語ライティング&グラマーⅡ	講義		2						○						
	日本語演習Ⅰ	演習		2					○	○						
	日本語演習Ⅱ	演習		2							○					
	日本語アクティブラーニング	演習		1							○					
	応用日本語	講義		2						○						
	総合日本語	講義		2								○				
	比較文化研究	講義		2								○				
	異文化理解演習	演習		2	○	○								★		
	国際・時事研究	講義		2						留	留					
	国際コミュニケーション	キャリアガイダンス	講義		2	留	留			留					*	
		ビジネス文書	講義		2	留	留	留	留						*	
		実践ビジネスマナー	演習		1	留	留						留		*	
		ホテル業論	講義		2		○								*	
		ホスピタリティビジネス	講義		2							○	○		*	
		実践グローバル・リーダーシップⅠ	実習		2				○							
		実践グローバル・リーダーシップⅡ	実習		2				○							
		実践グローバル・リーダーシップⅢ	実習		2				○							
		児童英語教授法	講義		2					○	○					
		日本語教授法	講義		2								○			
		課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ	演習		1					○					★
			Awesome Sasebo!Ⅱ	演習		1						○				★
			Awesome Sasebo!Ⅲ	演習		1							○			★
			Awesome Sasebo!Ⅳ	演習		1								○		★
	ギヤッパイヤー	学外学修事前指導	講義		2	留	留	留	留						★	
		海外文化事情（留学）Ⅰ	実習		2				○							
		海外文化事情（留学）Ⅱ	実習		2				○							
		海外文化事情（留学）Ⅲ	実習		6				○							
		インターンシップⅠ	実習		2				○						*	
インターンシップⅡ		実習		2				○						*		
インターンシップⅢ		実習		2				○						*		
インターンシップⅣ		実習		2				○						*		
実践Awesome Sasebo!（サービラーニング）Ⅰ		実習		2				留	留							
実践Awesome Sasebo!（サービラーニング）Ⅱ		実習		2				留	留							
実践Awesome Sasebo!（サービラーニング）Ⅲ		実習		2					留							
実践Awesome Sasebo!（サービラーニング）Ⅳ		実習		2					留							
学外学修事後指導	講義		2					留	留				★			
卒業研究	講義		2							○	○		★			
小計（96科目）				0	172											

*：実務経験者が担当
☆：国コミコース選択必修
★：国コミコース必修

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を履修すること。

- 一 地域共生学科（全学・学科共通）基礎教育科目の必修9単位を含む10単位以上
- 二 国際コミュニケーションコースの専門科目からコース必修20単位を含む36単位以上
- 三 国際コミュニケーションコース専門教育科目に関して、以下の科目はコース必修とする
 - 1 「コミュニケーション」については、会話科目4単位以上、検定科目4単位以上
 - 2 「多文化理解」については、「異文化理解演習」2単位
 - 3 「課題解決」については、「Awesome Sasebo！ I～IV」4単位
 - 4 「ギャップターム」については、「学外学修事前指導」「学外学修事後指導」4単位
 - 5 「卒業研究」2単位
- 四 基礎教育科目（内必修9単位）と専門教育科目（内必修20単位）から合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地 域 共 生 学 科
(国際コミュニケーションコース)

〈令和3年度以前入学生〉

科目 区分	授 業 科 目 の 名 称	授業の 方 法	単 位 数		1 年				2 年				備考	
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成		
専 門 教 育 科 目 (国 際 コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン コ ー ス)	英 会 話 I	演習		2	○	○								☆
	英 会 話 II	演習		1				○						☆
	英 会 話 III	演習		2						○	○			☆
	英 会 話 IV	演習		2								○	○	☆
	英 語 検 定 I	講義		2	○									☆
	英 語 検 定 II	講義		2		○								☆
	英 語 検 定 III	講義		2						○				☆
	多 読 演 習 I	演習		2	○	○								
	多 読 演 習 II	演習		1				○						
	多 読 演 習 III	演習		2					○					
	英語ライティング&文法Ⅰ	講義		2				○						
	英語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○	○		
	英 語 演 習 I	演習		2							○			
	英 語 演 習 II	演習		2								○	○	
	英語演習Ⅲ(アクティブラーニング)	演習		1								○	○	
	中 国 語 I	講義		2	○	○								
	中 国 語 II	講義		2							○			
	中 国 語 会 話	演習		1				○						☆
	中 国 語 検 定 I	講義		2	○									☆
	中 国 語 検 定 II	講義		2		○								☆
	中 国 語 検 定 III	講義		2						○				☆
	中国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2				○						
	中国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2								○	○	
	中 国 語 演 習 I	演習		2						○	○			
	中 国 語 演 習 II	演習		2								○	○	
	中国語演習Ⅲ(アクティブラーニング)	演習		1								○	○	
	韓 国 語 I	講義		2	○	○								
	韓 国 語 II	講義		2							○			
	韓 国 語 会 話	演習		1				○						☆
	韓 国 語 検 定 I	講義		2	○									☆
	韓 国 語 検 定 II	講義		2		○								☆
	韓 国 語 検 定 III	講義		2						○				☆
韓国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2				○							
韓国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2								○	○		
韓 国 語 演 習 I	演習		2						○	○				
韓 国 語 演 習 II	演習		2								○	○		
韓国語演習Ⅲ(アクティブラーニング)	演習		1								○	○		
基 礎 日 本 語 I	講義		2	○	○									
基 礎 日 本 語 II	講義		2							○				
日 本 語 会 話 I	演習		2	○	○								☆	
日 本 語 会 話 II	演習		1					○					☆	
日 本 語 会 話 III	演習		2						○	○			☆	
日 本 語 会 話 IV	演習		2								○	○	☆	

科目区分	授業科目の名称	授業の方法	単位数		1年				2年				備考	
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成		
専門教育科目 (国際コミュニケーション)	日本語検定Ⅰ	講義		2	○	○							☆	
	日本語検定Ⅱ	講義		2				○	○				☆	
	日本語検定Ⅲ	講義		2							○		☆	
	日本語ライティング&グラマーⅠ	講義		2	○									
	日本語ライティング&グラマーⅡ	講義		2							○			
	日本語演習Ⅰ	演習		2					○	○				
	日本語演習Ⅱ	演習		2							○	○		
	日本語演習Ⅲ(アクティブラーニング)	演習		1							○	○		
	応用日本語	講義		2				○						
	総合日本語	講義		2							○			
	多文化理解	比較文化研究	講義		2							○		
		異文化理解演習	演習		2	○	○							★
		国際・時事研究	講義		2						○			
	キャリアデザイン	キャリアガイダンス	講義		2	○	○				留			
		ビジネス文書	講義		2	留	留			留				*
		実践ビジネスマナー	演習		1	○	○	留						*
		ホテル業論	講義		2		○							*
		ホスピタリティビジネス	講義		2							○	○	*
		グローバル・リーダーシップ	講義		2					○				
		実践グローバル・リーダーシップ	実習		2					○				
		児童英語教授法	講義		2							○		
		日本語教授法	講義		2					○	○			
		課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ(準備・導入)	演習		1	○	○						
	Awesome Sasebo!Ⅱ(定着)		演習		1					○				★
	Awesome Sasebo!Ⅲ(応用)		演習		1						○			★
	Awesome Sasebo!Ⅳ(発展)		演習		1							○		★
	Awesome Sasebo!Ⅴ(完成)		演習		1								○	★
	ギャップイヤー事前指導		講義		2	○	○							★
	海外文化事情(留学)Ⅰ(アジア圏短期研修)		実習		2					○				
	海外文化事情(留学)Ⅱ(英語圏短期研修)		実習		2					○				
	海外文化事情(留学)Ⅲ(中期留学)		実習		6					○	○			
	インターンシップⅠ		実習		2					○			○	*
	インターンシップⅡ	実習		2					○	○			*	
	インターンシップⅢ	実習		2					○	○		○	*	
インターンシップⅣ	実習		2							○		*		
キャリア	実践Awesome Sasebo!(サービ斯拉ーニング)Ⅰ	実習		2				留	留					
	実践Awesome Sasebo!(サービ斯拉ーニング)Ⅱ	実習		2				留	留					
	実践Awesome Sasebo!(サービ斯拉ーニング)Ⅲ	実習		2					○					
	実践Awesome Sasebo!(サービ斯拉ーニング)Ⅳ	実習		2					留		留			
	ギャップイヤー事後指導	講義		2					○				★	
	卒業研究	講義		2							○	○	★	
小計(84科目)				0	157	—								

*:実務経験者が担当
☆:国コミコース選択必修
★:国コミコース必修

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を履修すること。

- 一 地域共生学科（全学・学科共通）基礎教育科目の必修10単位
- 二 国際コミュニケーションコースの専門科目からコース必修21単位を含む36単位以上
- 三 国際コミュニケーションコース専門教育科目に関して、以下の科目はコース必修とする
 - 1 「コミュニケーション」については、会話科目4単位以上、検定科目4単位以上
 - 2 「多文化理解」については、「異文化理解演習」2単位
 - 3 「課題解決」については、「Awesome Sasebo! I～V」5単位
 - 4 「ギャップイヤー」については、「ギャップイヤー事前指導」「ギャップイヤー事後指導」4単位
 - 5 「卒業研究」2単位
- 四 基礎教育科目（内必修10単位）と専門教育科目（内必修21単位）を含む合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

保 育 学 科

〈令和4年度入学生〉

科目区分	授 業 科 目	単位	単 位 数		履 修 法	1 年		2 年		保育士資格	幼稚園教諭	備 考
			必修	選択		前期	後期	前期	後期			
基礎 教 育 科 目	大 学 教 育 入 門	1	1		講義	○						
	デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎	1	1		講義	○						
	茶 道 文 化 I	1	1		演習	○						
	茶 道 文 化 II	1	1		演習		○					
	茶 道 文 化 III	1	1		演習			○				
	茶 道 文 化 IV	1	1		演習				○			
	日 本 国 憲 法	2	2		講義	○					必	
	ジ ェ ン ダ ー 論	2		2	講義		○					
	実 践 国 語 演 習	2		2	演習		○					
	英 語 I	2	2		演習	○					必	
	国際コミュニケーション演習	2		2	演習		○				選	
	ス ポ ー ツ 科 学	1	1		講義			○		必	必	
	ス ポ ー ツ 実 習	1	1		実技				○	必	必	
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習	2		2	演習	○					必	
	保 育 の I C T	2		2	演習		○					
保 育 に 関 する 専 門 科 目	保 育 原 理	2	2		講義	○				必	必	*
	教 育 原 理	2	2		講義			○		必	必	
	子 ども 家 庭 福 祉	2	2		講義	○				必		
	社 会 福 祉	2	2		講義	○				必		
	社 会 的 養 護 I	2	2		講義		○			必		
	保 育 者 論	2		2	講義			○		必	必	
	教 育 方 法 論	2		2	講義				○	選	必	
	教 育 経 営 論	2		2	講義			○		選	必	
	保 育 の 心 理 学	2	2		講義		○			必	必	*
	子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学	2		2	講義			○		必		*
	子 ども の 理 解 と 援 助	1	1		演習				○	必	必	*
	臨 床 心 理 学	2		2	演習					選	選	*

科目区分	授業科目	単位	単位数		履修法	1年		2年		保育士資格	幼稚園教諭	備考
			必修	選択		前期	後期	前期	後期			
保 育 に 関 す る 専 門 科 目	子どもの保健	2	2		講義	○				必		*
	子どもの健康と安全	1	1		演習			○		必		*
	子どもの食と栄養	2	2		演習		○			必		
	子ども家庭支援論	2		2	講義				○	必		
	カリキュラム論	2	2		講義		○			必	必	*
	保育内容総論	2	2		演習	○				必	必	*
	保育内容演習Ⅰ (健康)	1		1	演習		○			選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (表現音楽活動)	1		1	演習			○		選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (表現造形活動)	1		1	演習			○		選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (人間関係)	1		1	演習				○	選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (環境)	1		1	演習			○		選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (言葉)	1		1	演習		○			選必	必	
	乳児保育Ⅰ	2	2		講義		○			必		*
	乳児保育Ⅱ	1		1	演習			○		必		*
	特別支援教育概論	2		2	演習				○	必	必	
	社会的養護Ⅱ	1		1	演習			○		必		
	子育て支援	1		1	演習			○		必		*
	保育相談	2		2	講義			○		選	必	*
	総合保育技術Ⅰ	1		1	演習	○				選	選	
	総合保育技術Ⅱ	1		1	演習		○			選	選	
	総合保育技術Ⅲa	1		1	演習			○		選	選	*
	総合保育技術Ⅳa	1		1	演習				○	選	選	*
	総合保育技術Ⅲb	1		1	演習			○		選	選	
	総合保育技術Ⅳb	1		1	演習				○	選	選	
	総合保育技術Ⅲc	1		1	演習			○		選	選	*
	総合保育技術Ⅳc	1		1	演習				○	選	選	*
保育内容演習Ⅱ (保育教材研究a)	1		1	演習		○			選	選	*	
保育内容演習Ⅱ (保育教材研究b)	1		1	演習					選	選	*	
保育学特別演習	1		1	演習					選	選		

科目区分	授業科目	単位	単位数		履修法	1年		2年		保育士資格	幼稚園教諭	備考
			必修	選択		前期	後期	前期	後期			
保育に関する専門科目	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅰa)	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅰb)	1		1	演習		○			選必	選A	
	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅱa)	1		1	演習			○			選A	
	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅱb)	1		1	演習				○		選A	
	子どもと表現 (歌 唱)	1		1	演習	○				選必		*
	子どもと表現 (造形 a)	1		1	演習		○			選必	選A	
	子どもと表現 (造形 b)	1		1	演習				○	選必	選A	
	子どもと表現 (リズム)	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと健康	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと言語	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもの心	1		1	演習	○				選必	選A	
	保育実習Ⅰ	4		4	実習		○	○		必		*
	保育実習Ⅱ	2		2	実習			○		選必		*
	保育実習Ⅲ	2		2	実習			○		選必		*
	教育実習	4		4	実習			○			必	*
	実習指導 (保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)	2		2	演習		○	○		必	必	*
	保育実習指導Ⅱ	1		1	演習			○		選必		*
	保育実習指導Ⅲ	1		1	演習			○		選必		*
	保育実践演習 (教職実践演習)(幼稚園)	2		2	演習				○	必	必	*
	卒業研究Ⅰ	1		1	演習			○		選		
卒業研究Ⅱ	1		1	演習				○	選			
合計		114	36	78								

*：実務経験者が担当

保育士資格取得の要件

基礎教育科目は卒業必修科目を含め12単位以上必要、保育に関する必修科目はすべて必要、保育内容演習Ⅰ（選必）は5単位以上必要、保育内容の理解と方法（選必）は4単位以上必要、保育に関する選択科目（選）は6単位以上必要、保育実習に関する選択科目（選必）は保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱか保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲのいずれか3単位以上必要。

幼稚園教諭二種免許状取得の要件

卒業必修科目を含め必修科目はすべて必要、選Aより4単位以上必要。

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎教育科目については、外国語科目（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた12単位以上必要。
- 二 保育に関する専門科目については、必修科目（24単位）を含め50単位以上必要。
- 三 基礎教育科目（12単位以上）と保育に関する専門科目（50単位以上）の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

保 育 学 科

〈令和3年度入学生〉

科目区分	授 業 科 目	単位	単 位 数		履 修 法	1 年		2 年		保育士資格	幼稚園教諭	備 考
			必修	選択		前期	後期	前期	後期			
基礎 教育 科目	大 学 教 育 入 門	1	1		講義	○						
	社 会 人 基 礎 入 門 (地 域 と 大 学)	1	1		講義	○						
	茶 道 文 化 I	1	1		演習	○						
	茶 道 文 化 II	1	1		演習		○					
	茶 道 文 化 III	1	1		演習			○				
	茶 道 文 化 IV	1	1		演習				○			
	日 本 国 憲 法	2	2		講義	○						必
	女 性 学	2		2	講義		○					
	生 物 学	2		2	講義							
	実 践 国 語 演 習	2		2	演習		○					
	英 語 I	2	2		演習	○						必
	国際コミュニケーション演習Ⅰ	1		1	演習			○				選
	国際コミュニケーション演習Ⅱ	1		1	演習				○			選
	ス ポ ー ツ 科 学	1	1		講義			○			必	必
	ス ポ ー ツ 実 習	1	1		実技				○		必	必
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習	2		2	演習	○						必
保育に 関する 専門科目	保 育 原 理	2	2		講義	○					必	必
	教 育 原 理	2	2		講義			○			必	必
	子 ども 家 庭 福 祉	2	2		講義	○					必	
	社 会 福 祉	2	2		講義	○					必	
	社 会 的 養 護 I	2	2		講義		○				必	
	保 育 者 論	2		2	講義			○			必	必
	教 育 方 法 論	2		2	講義				○		選	必
	教 育 経 営 論	2		2	講義			○			選	必
	保 育 の 心 理 学	2	2		講義		○				必	必 *
	子ども家庭支援の心理学	2		2	講義			○			必	*
	子どもの理解と援助	1	1		演習				○		必	必 *
臨 床 心 理 学	2		2	演習						選	選 *	

科目区分	授業科目	単位	単位数		履修法	1年		2年		保育士資格	幼稚園教諭	備考
			必修	選択		前期	後期	前期	後期			
保 育 に 関 す る 専 門 科 目	子どもの保健	2	2		講義	○				必		*
	子どもの健康と安全	1	1		演習			○		必		*
	子どもの食と栄養	2	2		演習		○			必		
	子ども家庭支援論	2		2	講義				○	必		
	カリキュラム論	2	2		講義		○			必	必	*
	保育内容総論	2	2		演習	○				必	必	*
	保育内容演習Ⅰ (健康)	1		1	演習		○			選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (表現音楽活動)	1		1	演習			○		選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (表現造形活動)	1		1	演習			○		選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (人間関係)	1		1	演習				○	選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (環境)	1		1	演習			○		選必	必	
	保育内容演習Ⅰ (言葉)	1		1	演習		○			選必	必	
	乳児保育Ⅰ	2	2		講義		○			必		*
	乳児保育Ⅱ	1		1	演習			○		必		*
	特別支援教育概論	2		2	演習				○	必	必	
	社会的養護Ⅱ	1		1	演習			○		必		
	子育て支援	1		1	演習			○		必		*
	保育相談	2		2	講義			○		選	必	*
	総合保育技術Ⅰ	1		1	演習	○				選	選	
	総合保育技術Ⅱ	1		1	演習		○			選	選	
	総合保育技術Ⅲa	1		1	演習			○		選	選	*
	総合保育技術Ⅳa	1		1	演習				○	選	選	*
	総合保育技術Ⅲb	1		1	演習			○		選	選	
	総合保育技術Ⅳb	1		1	演習				○	選	選	
総合保育技術Ⅲc	1		1	演習			○		選	選	*	
総合保育技術Ⅳc	1		1	演習				○	選	選	*	
保育内容演習Ⅱ (保育教材研究a)	1		1	演習	○				選	選	*	
保育内容演習Ⅱ (保育教材研究b)	1		1	演習					選	選	*	
保育学特別演習	1		1	演習					選	選		

科目区分	授業科目	単位	単位数		履修法	1年		2年		保育士資格	幼稚園教諭	備考
			必修	選択		前期	後期	前期	後期			
保育に関する専門科目	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅰa)	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅰb)	1		1	演習		○			選必	選A	
	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅱa)	1		1	演習			○		選必	選A	*
	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅱb)	1		1	演習				○	選	選A	
	子どもと表現 (歌と唱)	1		1	演習		○			選	選A	
	子どもと表現 (造形a)	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと表現 (造形b)	1		1	演習				○	選必	選A	
	子どもと表現 (リズム)	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと健康	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと言語	1		1	演習	○				選必	選A	
	子どもと言語Ⅱ	1		1	演習						選A	
	子どもの心	1		1	演習	○				選必	選A	
	保育実習Ⅰ	4		4	実習		○	○		必		*
	保育実習Ⅱ	2		2	実習			○		選必		*
	保育実習Ⅲ	2		2	実習			○		選必		*
	教育実習	4		4	実習			○			必	*
	実習指導 (保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)	2		2	演習		○	○		必	必	*
	保育実習指導Ⅱ	1		1	演習			○		選必		*
	保育実習指導Ⅲ	1		1	演習			○		選必		*
	保育実践演習 (教職実践演習)(幼稚園)	2		2	演習				○	必	必	*
卒業研究Ⅰ	1		1	演習			○		選			
卒業研究Ⅱ	1		1	演習				○	選			
合計	114	36	78									

*：実務経験者が担当

保育士資格取得の要件

基礎教育科目は卒業必修科目を含め12単位以上必要、保育に関する必修科目はすべて必要、保育内容演習Ⅰ（選必）は5単位以上必要、保育内容の理解と方法（選必）は4単位以上必要、保育に関する選択科目（選）は6単位以上必要、保育実習に関する選択科目（選必）は保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱか保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲのいずれか3単位以上必要。

幼稚園教諭二種免許状取得の要件

卒業必修科目を含め必修科目はすべて必要、選Aより4単位以上必要。

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎教育科目については、外国語科目（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた12単位以上必要。
- 二 保育に関する専門科目については、必修科目（24単位）を含め50単位以上必要。
- 三 基礎教育科目（12単位以上）と保育に関する専門科目（50単位以上）の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

保育士養成課程と保育学科の対照履修方法

〈令和4年度入学生〉

保 育 士 養 成 課 程			保育学科の対照履修方法		
系 列	教 科 目	単位数	本 学 科 開 講 科 目	単位数	
教 養 科 目	外 国 語 (演習)	2	英 語 I	2	
			国際コミュニケーション演習	2	
	体 育 (講義)	1	スポーツ科学	1	
			体 育 (実技)	1	スポーツ実習
	そ の 他		大学教育入門	1	
			データサイエンス基礎	1	
			茶道文化Ⅰ	1	
			茶道文化Ⅱ	1	
			茶道文化Ⅲ	1	
			茶道文化Ⅳ	1	
			日本国憲法	2	
			ジェンダー論	2	
			実践国語演習	2	
			コンピュータ演習	2	
保育のICT	2				
小 計	11以上	小 計	22		
必 修 ・ 選 択 必 修 科 目	関 保 する 育 科目 の本 質・目的 に	保育原理 (講義)	2	保育原理	2
		教育原理 (講義)	2	教育原理	2
		子ども家庭福祉 (講義)	2	子ども家庭福祉	2
		社会福祉 (講義)	2	社会福祉	2
		子ども家庭支援論(講義)	2	子ども家庭支援論	2
		社会的養護Ⅰ (講義)	2	社会的養護Ⅰ	2
		保育者論 (講義)	2	保育者論	2
	解 保 に 育 関 育 する 対 科目 象 の理	保育の心理学 (講義)	2	保育の心理学	2
		子ども家庭支援の心理学(講義)	2	子ども家庭支援の心理学	2
		子どもの理解と援助(演習)	1	子どもの理解と援助	1
		子どもの保健 (講義)	2	子どもの保健	2
		子どもの食と栄養(演習)	2	子どもの食と栄養	2
	保 育 の 内 容・方 法に 関する 科目	保育の計画と評価(講義)	2	カリキュラム論	2
		保育内容総論 (演習)	1	保育内容総論	2
		保 育 内 容 演 習 (演習)	5	保育内容演習Ⅰ (健康)	1
				保育内容演習Ⅰ (表現音楽活動)	1
				保育内容演習Ⅰ (表現造形活動)	1
				保育内容演習Ⅰ (人間関係)	1
				保育内容演習Ⅰ (環境)	1
				保育内容演習Ⅰ (言葉)	1
		保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (演習)	4	子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅰ a)	1
子どもと表現 (ピアノ・楽典Ⅰ b)				1	
子どもと表現 (歌唱)				1	
子どもと表現 (造形 a)				1	
子どもと表現 (造形 b)				1	
子どもと表現 (リズム)				1	
子どもと健康	1				
子どもと言語	1				
子どもの心	1				

保 育 士 養 成 課 程				保育学科の対照履修方法	
	系 列	教 科 目	単位数	本 学 科 開 講 科 目	単位数
必 修 ・ 選 択 必 修 科 目	関 する 科 目 保 育 の 内 容 ・ 方 法 に	乳児保育Ⅰ（講義）	2	乳児保育Ⅰ	2
		乳児保育Ⅱ（演習）	1	乳児保育Ⅱ	1
		子どもの健康と安全（演習）	1	子どもの健康と安全	1
		障害児保育（演習）	2	特別支援教育概論	2
		社会的養護Ⅱ（演習）	1	社会的養護Ⅱ	1
		子育て支援（演習）	1	子育て支援	1
	保育実習	保育実習Ⅰ（実習）	4	保育実習Ⅰ	4
		保育実習指導Ⅰ（演習）	2	実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	2
	総合演習	保育実践演習（演習）	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2
	小 計			51	小 計
選 択 必 修 科 目	保育の本質・目的に関する科目		6 以 上	教育方法論	2
	保育の対象の理解に関する科目			教育経営論	2
	保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目			臨床心理学	2
				保育相談	2
				保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 a）	1
				保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 b）	1
				総合保育技術Ⅰ	1
				総合保育技術Ⅱ	1
				総合保育技術Ⅲ a	1
				総合保育技術Ⅳ a	1
				総合保育技術Ⅲ b	1
				総合保育技術Ⅳ b	1
				総合保育技術Ⅲ c	1
				総合保育技術Ⅳ c	1
				子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱ a）	1
子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱ b）	1				
保 育 実 習	保育実習Ⅱ又はⅢ（実習）		2	保育実習Ⅱ	2
				保育実習Ⅲ	2
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ（演習）		1	保育実習指導Ⅱ	1
				保育実習指導Ⅲ	1
小 計			9 以上	小 計	26
合 計			70以上	合 計	106

教 職 課 程

(教育職員免許法施行規則と本学科の対照履修方法)

〈令和4年度入学生〉

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本 学 科 開 講 科 目	単 位 数		備考
				必修	選択	
第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		
	体 育	2	スポーツ科学	1		
			スポーツ実習	1		
	外国語コミュニケーション	2	英 語 I	2		
			国際コミュニケーション演習		2	
	情報機器の操作	2	コンピュータ演習	2		
保育のICT				2		
計		8	計	8	4	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項		子どもと健康		1	4単位以上選択必修
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
			子どもと健康		1	
	保育内容の指導法	12	保育内容総論	2		
			保育内容演習 I (健康)	1		
			保育内容演習 I (表現音楽活動)	1		
			保育内容演習 I (表現造形活動)	1		
			保育内容演習 I (人間関係)	1		
			保育内容演習 I (環境)	1		
			保育内容演習 I (言葉)	1		
			総合保育技術 I		1	
			総合保育技術 II		1	
			総合保育技術 III a		1	
			総合保育技術 III b		1	
			総合保育技術 III c		1	
			総合保育技術 IV a		1	
			総合保育技術 IV b		1	
総合保育技術 IV c		1				
保育内容演習 II (保育教材研究 a)		1				
保育内容演習 II (保育教材研究 b)		1				
計	12	計	8	21		

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本 学 科 開 講 科 目	単 位 数		備考
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2		
			保育原理	2		
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容		保育者論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育経営論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2		
	教育課程の意義及び編成の方法		カリキュラム論	2		
等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	4	教育方法論	2		
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	1		
	教育相談の理論及び方法		臨床心理学		2	
			保育相談	2		
教育実践	教育実習	5	教育実習	4		
			実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	2		
	教職実践演習	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2		
計		17	計	27	2	
大学が独自に設定する科目		2	最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得	0		
計		2	計	0		

保育士養成課程と保育学科の対照履修方法

〈令和3年度入学生〉

保 育 士 養 成 課 程			保育学科の対照履修方法		
系 列	教 科 目	単位数	本 学 科 開 講 科 目	単位数	
教 養 科 目	外 国 語 (演習)	2	英 語 I	2	
			国際コミュニケーション演習 I	1	
			国際コミュニケーション演習 II	1	
	体 育 (講義)	1	スポーツ科学	1	
			スポーツ実習	1	
	そ の 他		大学教育入門	1	
			社会人基礎入門 (地域と大学)	1	
			茶道文化 I	1	
			茶道文化 II	1	
			茶道文化 III	1	
			茶道文化 IV	1	
			日本国憲法	2	
			女 性 学	2	
			生 物 学	2	
実践国語演習			2		
コンピュータ演習	2				
小 計	11以上	小 計	22		
必 修 ・ 選 択 必 修 科 目	関 保 する育 科目の本 質・目的 に	保育原理 (講義)	2	保育原理	2
		教育原理 (講義)	2	教育原理	2
		子ども家庭福祉 (講義)	2	子ども家庭福祉	2
		社会福祉 (講義)	2	社会福祉	2
		子ども家庭支援論(講義)	2	子ども家庭支援論	2
		社会的養護 I (講義)	2	社会的養護 I	2
		保育者論 (講義)	2	保育者論	2
	解 保 に育 関の する対 科目象 の理	保育の心理学 (講義)	2	保育の心理学	2
		子ども家庭支援の心理学(講義)	2	子ども家庭支援の心理学	2
		子どもの理解と援助(演習)	1	子どもの理解と援助	1
		子どもの保健 (講義)	2	子どもの保健	2
		子どもの食と栄養(演習)	2	子どもの食と栄養	2
	保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目	保育の計画と評価(講義)	2	カリキュラム論	2
		保育内容総論 (演習)	1	保育内容総論	2
		保 育 内 容 演 習 (演習)	5	保育内容演習 I (健康)	1
				保育内容演習 I (表現音楽活動)	1
				保育内容演習 I (表現造形活動)	1
				保育内容演習 I (人間関係)	1
				保育内容演習 I (環境)	1
				保育内容演習 I (言葉)	1
		保 育 内 容 の 理 解 と 方 法 (演習)	4	子どもと表現 (ピアノ・楽典 I a)	1
子どもと表現 (ピアノ・楽典 I b)				1	
子どもと表現 (歌唱)				1	
子どもと表現 (造形 a)				1	
子どもと表現 (造形 b)				1	
子どもと表現 (リズム)				1	
子どもと健康	1				
子どもと言語	1				
子どもの心	1				

保 育 士 養 成 課 程				保育学科の対照履修方法	
	系 列	教 科 目	単位数	本 学 科 開 講 科 目	単位数
必 修 ・ 選 択 必 修 科 目	関 する 科 目 保 育 の 内 容 ・ 方 法 に	乳児保育Ⅰ（講義）	2	乳児保育Ⅰ	2
		乳児保育Ⅱ（演習）	1	乳児保育Ⅱ	1
		子どもの健康と安全（演習）	1	子どもの健康と安全	1
		障害児保育（演習）	2	特別支援教育概論	2
		社会的養護Ⅱ（演習）	1	社会的養護Ⅱ	1
		子育て支援（演習）	1	子育て支援	1
	保育実習	保育実習Ⅰ（実習）	4	保育実習Ⅰ	4
		保育実習指導Ⅰ（演習）	2	実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	2
	総合演習	保育実践演習（演習）	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2
	小 計			51	小 計
選 択 必 修 科 目	保育の本質・目的に関する科目		6 以 上	教育方法論	2
	保育の対象の理解に関する科目			教育経営論	2
	保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目			臨床心理学	2
				保育相談	2
				保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 a）	1
				保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 b）	1
				総合保育技術Ⅰ	1
				総合保育技術Ⅱ	1
				総合保育技術Ⅲ a	1
				総合保育技術Ⅳ a	1
				総合保育技術Ⅲ b	1
				総合保育技術Ⅳ b	1
				総合保育技術Ⅲ c	1
				総合保育技術Ⅳ c	1
				子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱ a）	1
				子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱ b）	1
保 育 実 習	保育実習Ⅱ又はⅢ（実習）		保育実習Ⅱ	2	
			保育実習Ⅲ	2	
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ（演習）		保育実習指導Ⅱ	1	
			保育実習指導Ⅲ	1	
小 計			9 以上	小 計	26
合 計			70以上	合 計	106

教 職 課 程

(教育職員免許法施行規則と本学科の科目対照履修方法)

〈令和3年度入学生〉

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本 学 科 開 講 科 目	単 位 数		備 考			
				必修	選択				
第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2					
	体 育	2	スポーツ科学	1					
			スポーツ実習	1					
	外国語コミュニケーション	2	英 語 I	2					
			国際コミュニケーション演習 I		1				
			国際コミュニケーション演習 II		1				
	情報機器の操作	2	コンピュータ演習	2					
計	8	計	8	2					
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康		1	4単位以上選択必修			
		人間関係	子どもの心						
		環境							
		言葉	子どもと言語		1				
			子どもと言語 II		1				
		表現	子どもと表現 (ピアノ・楽典 I a)		1				
			子どもと表現 (ピアノ・楽典 I b)		1				
			子どもと表現 (ピアノ・楽典 II a)		1				
			子どもと表現 (ピアノ・楽典 II b)		1				
			子どもと表現 (造形 a)		1				
			子どもと表現 (造形 b)		1				
				子どもと表現 (リズム)			1		
		保育内容の指導法		12	保育内容総論		2		
					保育内容演習 I (健康)		1		
				保育内容演習 I (表現音楽活動)	1				
				保育内容演習 I (表現造形活動)	1				
				保育内容演習 I (人間関係)	1				
				保育内容演習 I (環境)	1				
				保育内容演習 I (言葉)	1				
				総合保育技術 I		1			
				総合保育技術 II		1			
				総合保育技術 III a		1			
				総合保育技術 III b		1			
				総合保育技術 III c		1			
				総合保育技術 IV a		1			
			総合保育技術 IV b		1				
			総合保育技術 IV c		1				
		保育内容演習 II (保育教材研究 a)		1					
		保育内容演習 II (保育教材研究 b)		1					
計	12	計	8	21					

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本 学 科 開 講 科 目	単 位 数		備考
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2		
			保育原理	2		
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容		保育者論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育経営論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2		
	教育課程の意義及び編成の方法		カリキュラム論	2		
等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	4	教育方法論	2		
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	1		
	教育相談の理論及び方法		臨床心理学		2	
			保育相談	2		
教育実践	教育実習	5	教育実習	4		
			実習指導（保育実習指導Ⅰ、教育実習指導）	2		
	教職実践演習	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2		
計		17	計	27	2	
大学が独自に設定する科目		2	最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得	0		
計		2	計	0		

実習（保育所・施設・幼稚園）の方針

I 保育実習（保育所・施設）

1. 保育実習の目的

保育実習は、本学保育学科（保育士養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、子ども・児童に対する理解を通じて保育の理論と実践との関係について習熟させることを目的とする。

2. 保育実習履修の方法

保育実習は、下記の表1に掲げる履修方法で実施することとする。

（表1）

実習種別	選択／必修	履修方法	
		単位数	実習日数
保育実習Ⅰ	必修科目	4単位	20日間
保育実習Ⅱ	選択必修科目	2単位	10日間
保育実習Ⅲ	選択必修科目	2単位	10日間

（※実習日数は1日8時間以上×日数とする）

(1) 各実習における実習施設の役割

保育実習Ⅰ

- ① 保育所
- ② 保育所以外の児童福祉施設等

乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、障害児入所施設、
児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童発達支援センター、
障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所

保育実習Ⅱ

保育所

保育実習Ⅲ

実習Ⅰの施設に加え、児童厚生施設等

- (2) 保育実習Ⅰ（必修科目）5単位は、1年後期と2年通年で開講する。実習に関する事前事後の指導1単位（教育実習を含め2単位）のほか、保育所における実習2単位（10日間）および、保育所以外の施設における実習2単位（10日間）とする。
- (3) 保育実習を行う(1)に該当する保育所以外の施設への学生の配当は、実習施設の規模、指導担当者の状況などを考慮して本学で定める。
- (4) 保育学科教員は、実習期間中に実習施設を訪問して学生を指導することを原則とし、これにより難しい場合は、主として実習指導を担当する教員が、手紙・電話・電子メールなどの通信方法を使って学生の指導を行う。

3. 保育実習計画

(表2 令和3年度入学生)

実習種別・実習先		学 年	実 習 期 間
保育実習Ⅰ	保育所 施 設	2年次	令和4年8/16(火)～8/26(金)の内の10日間
		1年次	令和4年2/14(月)～3月末日の内の10日間
保育実習Ⅱ	保育所	2年次	令和4年8/31(水)～9/10(土)の内の10日間
保育実習Ⅲ	施 設	2年次	令和4年8/31(水)～9/16(金)の内の10日間

令和4年8月29日(月)は帰校日

(表3 令和4年度入学生)

実習種別・実習先		学 年	実 習 期 間
保育実習Ⅰ	保育所 施 設	2年次	令和5年8/16(水)～8/26(土)の内の10日間
		1年次	令和5年2/15(水)～3月末日の内の10日間
保育実習Ⅱ	保育所	2年次	令和5年9/1(金)～9/12(火)の内の10日間
保育実習Ⅲ	施 設	2年次	令和5年9/1(金)～9/20(水)の内の10日間

令和5年8月28日(月)は帰校日

【保育実習資料】

1. 保育実習の日数

科目 (実習種別)	単位数	必要日数	実施期間	該当施設	備考
保育実習Ⅰ (必修)	4	10日	1年生の2月～3月	児童福祉施設等 乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、 障害児入所施設、児童心理治療施設、 児童自立支援施設、障害者支援施設、 児童発達支援センター、指定障害福祉サービス事業所	基本的には学校で実習先 配当を行う
			2年生の8月	保育所	学生自身が依頼する
保育実習Ⅱ (選択必修)	2	10日	2年生の8月～9月	保育所	学生自身が依頼する
保育実習Ⅲ (選択必修)	2	10日	2年生の8月～9月	児童福祉施設……保育所以外 (保育実習Ⅰの居住型施設または児童厚生施設)	基本的には学校で実習先 配当を行う

2. 実習の形態

- パターン1
「保育実習Ⅰ(必須)」(施設10日 + 保育所10日) + 「保育実習Ⅱ(選択必須)」(保育所10日)
- パターン2
「保育実習Ⅰ(必須)」(施設10日 + 保育所10日) + 「保育実習Ⅲ(選択必須)」(施設10日)

II 教育実習（幼稚園）

1. 幼稚園教育実習の目的

幼稚園教育実習は、本学保育学科（幼稚園教諭養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、幼児に対する理解を通じて幼稚園保育の理論と実践との関係について習熟させることを目的とする。

2. 幼稚園教育実習履修の方法

幼稚園教育実習は、下記の表1に掲げる履修方法で実施することとする。

（表1）

実習種別	実習機関	選択/必修	履修方法	
			単位数	実習日数
教育実習	幼稚園	必修科目	4単位	4週間

- (1) 幼稚園教育実習（必修科目）5単位は、事前事後の指導1単位（保育実習を含め2単位）のほか、幼稚園における実習4単位（4週間）とする。
- (2) 幼稚園教育実習4週間の実習期間は、教育効果を考慮して、2期（2週間×2回）に分けて実施する。
- (3) 保育学科教員は、実習期間中に実習幼稚園を訪問して学生を指導することを原則とし、これにより難しい場合は、手紙・電話・電子メールなどの通信方法を使って学生の指導を行なう。

3. 幼稚園教育実習計画

（表2 令和3年度入学生）

実習種別・実習先		学年	実習期間
教育実習	幼稚園（1期）	2年次	令和4年 6/ 1(木)～ 6/14(火)の内の10日間
	幼稚園（2期）	2年次	令和4年 9/20(火)～10/ 4(火)の内の10日間

（表3 令和4年度入学生）

実習種別・実習先		学年	実習期間
教育実習	幼稚園（1期）	2年次	令和5年 6/ 1(木)～ 6/14(火)の内の10日間
	幼稚園（2期）	2年次	令和5年 9/25(月)～10/ 6(金)の内の10日間

※実習では、実習日数を補うため幼稚園の行事实習（運動会、遊戯会等）を含むこと。

専 攻 科 (保育専攻)

〈令和4年度入学生〉

教育学区分	授 業 科 目		単 位	単 位 数		履 修 法	1 年		2 年		幼稚園 一種免	備 考
				必修	選択		前期	後期	前期	後期		
以外 関連	教育職員免許法 施行規則第66条の 6 に定める科目	幼 児 英 語 指 導 法	2		2	講義			○		☆	
		実 践 コ ン ピ ュ ー タ	2	2		演習		○			☆	
専門	領域に関する 専門的事項	子どもと健康特論Ⅰ	1	1		演習				○	☆	
		子どもと健康特論Ⅱ	1		1	演習					☆	
		子どもと人間関係特論	2		2	講義		○			☆	
		子どもと環境特論	2		2	講義		○			☆	*
		子どもと言葉特論	2		2	講義					☆	
		子どもと表現特論(音楽Ⅰ)	1	1		演習	○				☆	
		子どもと表現特論(音楽Ⅱ)	1		1	演習		○			☆	
		子どもと表現特論(造形Ⅰ)	1	1		演習	○				☆	
		子どもと表現特論(造形Ⅱ)	1		1	演習	○				☆	
	教育の 基礎的理解に 関する科目	保 育 職 特 論	2	2		講義				○	☆	
		保 育 原 理 特 論	2	2		講義	○				☆	
		特別支援教育特論	2		2	講義					☆	
		心身の発達と学習過程	2	2		講義		○			☆	
		保 育 経 営 論	2	2		講義		○			☆	*
		カリキュラム特論	2		2	講義			○		☆	*
	領域及び保育 内容の指導法 に関する科目	保育内容(表現音楽)研究Ⅰ	2	2		演習			○		☆	
		保育内容(表現音楽)研究Ⅱ	2		2	演習				○	☆	
		保育内容(表現造形)研究Ⅰ	2	2		演習				○	☆	
		保育内容(表現造形)研究Ⅱ	2		2	演習					☆	
		保育内容(人間関係)研究	2	2		演習			○		☆	
		保育内容(環境)研究	2		2	演習	○				☆	
		保育内容(言葉)研究	2		2	演習	○				☆	
	道徳、総合的な学習 の時間等の指導法、 及び生活指導、教育 相談等に関する科目	臨 床 心 理 学 特 論	2		2	講義					☆	
		保育児童(子育て)相談	2	2		講義			○		☆	
	その他の基礎科目 関連	子 ども と 道 徳	2		2	講義						
		ホ ス ピ タ リ テ ィ 論	2	2		講義				○		

教育学区分	授 業 科 目	単 位	単 位 数		履 修 法	1 年		2 年		幼 稚 園 一 種 免	備 考
			必 修	選 択		前 期	後 期	前 期	後 期		
専門	障 害 福 祉 論	2	2		講義				○		
	子ども家庭援助技術特論	2		2	講義			○			
	子ども家庭福祉特論	2	2		講義	○					
関連	世 代 間 交 流 論	2		2	講義			○			
専門	保 育 者 看 護 論	2		2	講義			○			
	児 童 文 化 研 究	2		2	講義		○				
	保育実践特別研究Ⅰ	2		2	演習	○					*
	保育実践特別研究Ⅱ	2		2	演習		○				*
	保育実践特別研究Ⅲ	2		2	演習			○			*
	保育実践特別研究Ⅳ	2		2	演習				○		*
	そ の 他 の 専 門 教 育 科 目										
以外	修 了 研 究 Ⅰ	2	2		演習	○					
	修 了 研 究 Ⅱ	2	2		演習		○				
	修 了 研 究 Ⅲ	2	2		演習			○			
	修 了 研 究 Ⅳ	2	2		演習				○		
	文書購読プレゼンスキル演習	2		2	演習	○					
	生 涯 ス ポ ー ツ	1		1	演習				○		
	芸 術 論	2		2	講義				○		
	合 計	83	35	48							

*：実務経験者が担当

修了の要件

必修科目35単位は必ず履修し、62単位以上の修得を修了の要件とする。

※教育学区分は、専門科目、関連科目、専攻に係る以外の科目の別を示す。

専 攻 科 (保育専攻)

〈令和3年度入学生〉

教育学区分	授 業 科 目		単 位	単 位 数		履 修 法	1 年		2 年		幼稚園 一種免	備 考
				必修	選択		前期	後期	前期	後期		
以外 関連	教育職員免許法 施行規則第66条の 6 に定める科目	幼 児 英 語 指 導 法	2		2	講義			○		☆	
		実 践 コ ン ピ ュ ー タ	2	2		演習		○			☆	
専門	領域に関する 専門的事項	子どもと健康特論Ⅰ	1	1		演習				○	☆	
		子どもと健康特論Ⅱ	1		1	演習					☆	
		子どもと人間関係特論	2		2	講義		○			☆	
		子どもと環境特論	2		2	講義		○			☆	*
		子どもと言葉特論	2		2	講義					☆	
		子どもと表現特論(音楽Ⅰ)	1	1		演習	○				☆	
		子どもと表現特論(音楽Ⅱ)	1		1	演習		○			☆	
		子どもと表現特論(造形Ⅰ)	1	1		演習	○				☆	
		子どもと表現特論(造形Ⅱ)	1		1	演習	○				☆	
	教育の 基礎的理解に 関する科目	保 育 職 特 論	2	2		講義				○	☆	
		保 育 原 理 特 論	2	2		講義	○				☆	
		特別支援教育特論	2		2	講義					☆	
		心身の発達と学習過程	2	2		講義		○			☆	
		保 育 経 営 論	2	2		講義		○			☆	*
		カリキュラム特論	2		2	講義			○		☆	*
	領域及び保育 内容の指導法 に関する科目	保育内容(表現音楽)研究Ⅰ	2	2		演習			○		☆	
		保育内容(表現音楽)研究Ⅱ	2		2	演習				○	☆	
		保育内容(表現造形)研究Ⅰ	2	2		演習				○	☆	
		保育内容(表現造形)研究Ⅱ	2		2	演習					☆	
		保育内容(人間関係)研究	2	2		演習			○		☆	
		保育内容(環境)研究	2		2	演習	○				☆	
		保育内容(言葉)研究	2		2	演習	○				☆	
	道徳、総合的な学習 の時間等の指導法、 及び生活指導、教育 相談等に関する科目	臨 床 心 理 学 特 論	2		2	講義					☆	
		保育児童(子育て)相談	2	2		講義			○		☆	
	その他の基礎科目 関連	子 ども と 道 徳	2		2	講義						
		ホ ス ピ タ リ テ ィ 論	2	2		講義				○		

教育学区分	授 業 科 目	単 位	単 位 数		履 修 法	1 年		2 年		幼 稚 園 一 種 免	備 考	
			必 修	選 択		前 期	後 期	前 期	後 期			
専門	障 害 福 祉 論	2	2		講義				○			
	子ども家庭援助技術特論	2		2	講義			○				
	子ども家庭福祉特論	2	2		講義	○						
関連	世 代 間 交 流 論	2		2	講義			○				
専門	保 育 者 看 護 論	2		2	講義			○				
	児 童 文 化 研 究	2		2	講義		○					
	保育実践特別研究Ⅰ	2		2	演習	○					*	
	保育実践特別研究Ⅱ	2		2	演習		○				*	
	保育実践特別研究Ⅲ	2		2	演習			○			*	
	保育実践特別研究Ⅳ	2		2	演習				○		*	
	その他 の 専門 教育 科目	修 了 研 究 Ⅰ	2	2		演習	○					
		修 了 研 究 Ⅱ	2	2		演習		○				
修 了 研 究 Ⅲ		2	2		演習			○				
修 了 研 究 Ⅳ		2	2		演習				○			
文書購読プレゼンスキル演習		2		2	演習	○						
生 涯 ス ポ ー ツ		1		1	演習				○			
芸 術 論		2		2	講義				○			
幼 児 算 数		2		2	講義							
	合 計	85	35	50								

*：実務経験者が担当

修了の要件

必修科目35単位は必ず履修し、62単位以上の修得を修了の要件とする。

※教育学区分は、専門科目、関連科目、専攻に係る以外の科目の別を示す。

教 職 課 程

(教育職員免許法施行規則と本専攻の科目対照履修方法)

〈令和4および3年度入学生〉

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本専攻科開講科目	単位数	
				必修	選択
第66条の6	日 本 国 憲 法	0 (2)			
	体 育	0 (2)			
	外国語コミュニケーション	0 (2)	幼 児 英 語 指 導 法		2
	情 報 機 器 の 操 作	0 (2)	実 践 コ ン プ ュ ー タ	2	
	計	0 (8)	計	2	2
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康特論Ⅰ	1	
			子どもと健康特論Ⅱ		1
		人間関係	子どもと人間関係特論		2
			子どもと環境特論		2
		環境	子どもと言葉特論		2
			子どもと表現特論(音楽Ⅰ)	1	
		言葉	子どもと表現特論(音楽Ⅱ)		1
			子どもと表現特論(造形Ⅰ)	1	
	表現	子どもと表現特論(造形Ⅱ)		1	
		複数の事項を合わせた科目			
	保育内容指導法		保育内容(表現音楽)研究Ⅰ	2	
			保育内容(表現音楽)研究Ⅱ		2
			保育内容(表現造形)研究Ⅰ	2	
			保育内容(表現造形)研究Ⅱ		2
			保育内容(人間関係)研究	2	
		保育内容(環境)研究		2	
		保育内容(言葉)研究		2	
計	4 (16)	計	9	17	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4 (10)	保 育 原 理 特 論	2	
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容		保 育 職 特 論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		保 育 経 営 論	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		心身の発達と学習過程	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特 別 支 援 教 育 特 論		2
	教育課程の意義及び編成の方法		カ リ キ ュ ラ ム 特 論		2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生活指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	0 (4)			
	幼児理解の理論及び方法		臨 床 心 理 学 特 論		2
	教育相談の理論及び方法		保 育 児 童 (子 育 て) 相 談	2	
教育実践	教 育 実 習	0 (5)			
	教 職 実 践 演 習	0 (2)			
	計	4 (17)	計	10	6

最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

注) 括弧内の数値は幼稚園教員二種免許状取得に係る単位数を含んだ単位数を示す。